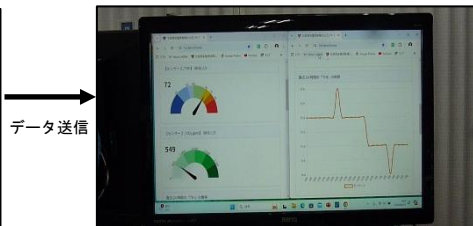


背景・目的

○意欲のある若い担い手や法人を中心に牛舎等の整備が加速している。一方、関係機関による現地指導が困難な場面も散見されることから、環境センサーによる畜舎環境の状況把握やウェアラブルカメラ・繁殖管理システムの活用による遠隔指導体制についての検証を行う。



畜舎内環境センサー



データ送信

遠隔地による畜舎環境の把握
(畜舎環境の見える化)

研究内容・目標

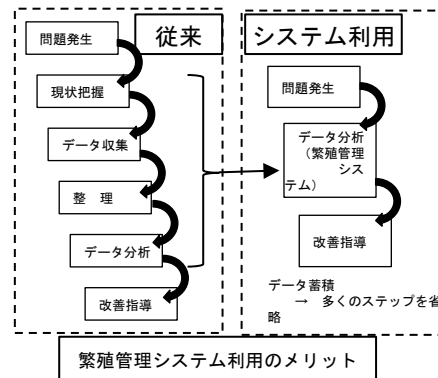
- 1 遠隔による畜舎環境の最適化の実証
 - ・環境センサーにより畜舎環境が見える化
- 2 ウェアラブルカメラによる情報の共有化
 - ・各種ウェアラブルカメラの現地実証比較
- 3 繁殖管理システムmoopadによる現地実証
 - ・繁殖情報を生産者と指導者（獣医師、JA、家保、振興局等）で情報共有

効果目標

○スマート技術を活用し、コスト削減や事故率の低減、産業獣医師の労働環境の改善につなげる。

研究成果と課題

- 1 遠隔による畜舎環境の最適化の実証
 - ・Co2濃度が計れる環境センサー導入により畜舎内環境の生産性への影響を確認中。
- 2 ウェアラブルカメラによる情報共有化
 - ・4種類のウェアラブルカメラの中で操作性の優れた機種を選定。
 - ・当該機種を用いて現場作業者と遠隔地の研究員との意思疎通状況の検証。
- 3 繁殖管理システムmoopadによる現地実証
 - ・繁殖経営は1年以上かけて行うため、データを分析するための継続した検証。



遠隔支援システム

技術普及に向けた取組

- 軽労化、省力化によるコスト低減効果と経営への影響についてを検討中。
- システムの有効活用による事故率低減効果や産業医の労働環境改善効果を検討中。
- 実証結果を踏まえた技術資料を予定。